



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2023年12月 自然のたより

秋はあっという間に走り去り、季節はいよいよ冬の到来です。仏果山や高取山が含まれる丹沢山系も雪が降りました。村の朝の散策は息も白く、カメラを持つ手も凍えます。でも、そんな寒い朝も、イロハモミジの赤や、金色に輝くイチョウ、燃えるようなメタセコイアなどの木々を見れば、冬もいいなと思います。でも、それもつかの間、落葉樹は葉を落として、冬の装いになりました。ツグミやジョウビタキなどの冬鳥たちも村を訪れています。これから、たくさんの冬の出会いがやって来ます。(高梨)



晩秋のハダカホオズキ



冬を越すウラギンシジミ



冬の鳥ジョウビタキ



紅葉したイロハモミジ



高取山から見たスカイツリー



ゲンノショウコ



ビワの花



ヨウコウザクラ葉痕



モリヤドリカニムシ



ジャコウアゲハ蛹



成虫越冬ツチイナゴ



アカゲラ



飛翔するヒヨドリ



ヤマガラ何思



あっちだよとニホンザル

## トピックス ★群れを作る野鳥たち★

体育館前のカツラの梢に、十数羽の鳥がとまっています。尾羽の先がエビフライのようにになっているカワラヒワの群れです。すぐ近くのグラウンドでは、渡って来たばかりのツグミの群れが走り回っています。モズやジョウビタキのように、単独で冬を越す鳥もいますが、秋から冬にかけて多くの野鳥たちは群れを作ります。何故、野鳥たちは、群れを作るのでしょうか。

それは、「安全」と「食物確保」のためと言われていいます。沢山の数でいれば、その分「目」が増えて天敵の発見が早くなったり、食べ物がどこにあるかなど情報を集めて共有出来ます。中にはシジュウカラやエナガ、メジロ、コゲラなど、違う種類の野鳥で群れを作る鳥もいます。これは、混群といわれます。(詳しくは、2021、1月の自然のたよりを参考)。でも、もう一つ、理由があると思います。それは、「恋活」です。春の繁殖期に向けて、雄も雌も群れの中から、素敵な恋人を探していると、私は考えます。よりカッコいい恋人、子孫繁栄のための強い恋人は集団の中で選んだ方が良さそうです。

去年は、冬鳥のマヒワやアトリがほとんど村で見られませんでした。この鳥たちも群れを作ります。今年の冬はぜひ、沢山の仲間を連れて、村を訪れてほしいものです。(高梨)



## 生き物 ★ヤブコウジ★

果実や葉が「柑子(コウジ)」に似ていて、藪の中に生えていることから、「藪柑子(ヤブコウジ)」と名前がついた赤い実。葉が落ちても、実がなり続ける生命力の強さから、古くから縁起物として扱われてきました。どうやら、赤い実のなる盆栽の主流だそうです。

ヤブコウジと聞いて、もしかしてと思い浮かべたのが、「やぶらこうじのぶらこうじ」。そう、「じゅげむ」に出てくる一節です。和尚さんにおめでたい名前をつけてとお願いして、教えてもらった言葉を全部繋げてしまったというお話。諸説ありますが、どうやらこれは、ヤブコウジのことを指しているようなのです。寒々とした冬に、温かな赤の差し色を添えて、霜をしのぐ丈夫さをぜひ、見習いたいものです。

(佐々木)



## 旬 ★年越しそば★

12月になると思い浮かべるのは、大掃除・お正月準備など、一年で一番忙しい月ですね。そして、一年の終わりに忘れてはならない「年越しそば」。

「年越しそば」は、12月31日の夕食に食べる人、除夜の鐘を聴きながら食べる人、と様々だと思います。

ソバは、タデ科・ソバ属に分類される一年草です。日本では種を製粉してそば粉として利用します。タンパク質・ビタミンB1・B2・ルチンが多く含まれ毛細血管を丈夫にし、動脈硬化の予防や血圧下げの効果が期待されます。美味しくて、健康によいソバ。

一年の最後に食べる物ですから、一年を振り返り、新しい年がいい年になるよう祈りつつ食べてみてはいかがでしょうか。

(菅原)



## 来月の見どころ

### 葉痕の顔から思いこむ

時のたつのは早いもので来月は新しい年を迎える。冬に咲くツバキやサザンカ、ビワの花は元気いっぱい小鳥たちが集まる。道端に咲くホトケノザやナズナ、オオイヌフグリなども美しい花を咲かせ春の気分になる。

枯れたように見える枝を見ると、葉が落ちた痕に個性的な顔をした葉痕が見える。顔に見える部分は維管束痕といい、維管束は水分や栄養分の通る管のことをさします。上の写真は、オニグルミの葉痕で下はクズの葉痕です。オニグルミの果実は、人間にとって大切な栄養素を含んだ食物です。賢そうな葉痕は、人間にもっと知恵を出しなさいと諭しているようです。

仏様のように穏やかで優しい顔をしたクズの葉痕は、争いごとの多い人間社会に対してお互いを認め合い平和な世の中になるように祈っているような気がします。冬は葉痕を観察する絶好の季節です。葉痕を見ながら、生き物を大切に、質素な中にも心豊かな生活を送りたいと思った。(吉田)

